



木南 裕樹 議員

YUKI KIMINAMI



志政会 令和5年度 施政方針について

**問** 赤とんぼ荘において、耐震の懸念もあり、今後どのようなビジョンをもっているのか市の方針を示すことが重要である。令和5年度において、何か決断することは考えているのか。

**答** 市としては、当分の間、喫茶業務のみを営業することとし、赤とんぼ荘利活用検討委員会において、応募条件をさらに調査研究し、令和5年度の公開型プロポーザル審査の実施に向け、検討していく。

**問** 新宮高等学校跡地について何か動きがあるのか。

**答** 現在、栗栖川の河川改修工事が進められ、今後、事業用地確保及び校舎解体工事が予定されているが、現時点においては具体的な方針は示されていない状況である。

**問** 龍野実業高等学校跡地について何か動きがあるのか。

**答** 市が主体となった跡地利用は、いったん白紙に戻した上で、兵庫県の意向に沿うこととしたところである。本年1月において、県教育委員会財務課より、県自ら利用を検討している旨の一報があったものの、その詳細は示されていない状況である。

**問** 迅速・正確な防災情報の伝達のために、スマートフォンアプリの導入とあるが、若い世代には非常に効果があると思われるが、特に高齢者へのプッシュ型の情報提供についてはどのような取り組みを行っていくのか。

**答** スマートフォンを保有していない高齢者へのプッシュ型情報提供については、このアプリを家族の方、または近隣にお住まいの方がダウンロードし、高齢者宅の電話番号をアプリに登録していただくことで、放送内容が届いた際、自動で登録された電話番号に電話がかかり、内容を知らせることが出来るようになる。アプリ導入後は、これらの機能を多くの方々に活用して頂けるよう普及啓発に努める。

清風クラブ 令和5年度 市政推進の基本姿勢について



宗實 雅典 議員

MASANORI MUNEZANE



人を育み、誰もが健やかに暮らせるまちづくりについて

**問** 妊娠・出産・育児の不安や困りごとに寄り添う伴走型相談支援の具体策について伺う。

**答** 伴走型相談支援とは、妊娠届出時からすべての妊婦・子育て家庭に寄り添い、面談等を通じて相談に応じ、各家庭のニーズに応じた必要な支援につなげることであり、本市では、国の令和4年度第2次補正予算において創設された、出産・子育て応援交付金を活用し、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行う「たつの市出産・子育て応援金給付事業」を本年2月から開始したところである。

**問** 安心して出産・子育てができる環境づくりの具体策について伺う。

**答** 伴走型相談支援とともに、

経済的支援として出産応援金、子育て応援金を妊婦及び児童の養育者へ給付する。児童福祉と母子保健との一体的な相談支援を行う「子ども家庭センター」の令和6年度の設置に向け、子育て支援センター「すくすく」と母子健康センター「はつらつ」の相談記録等の情報を共有するためのシステム導入を進めていく。

**問** ひきこもり状態にある方に対し、どのような居場所の確保を考えているのか。

**答** 市内の空き家を活用し、外出しづらい方が自分の家以外で一定の時間、自由に過ごせる場所を予定している。

**問** 本竜野駅西側において公共施設の集約・複合化を推進するとあるが、どのような施設を考えているのか。

**答** 公共施設を複合化するだけでなく、地域のにぎわいを創出できるよう民間活力による施設整備を目指している。

その他の質問事項

● 活力と魅力ある力強いまちづくり VISION